

青森市中心商店街における クルーズ客の受入状況等に関する調査結果（概要）

- ◇約6割の店舗が前年(令和6年)と比べてクルーズ客など外国人観光客の来店数が増えたほか、約4割の店舗がクルーズ客等の消費額(売上)が増えたと回答している。
- ◇クルーズ客等向けの店舗の取組は、キャッシュレス決済や商品・メニューの外国語表記などが多く、外国人向けの割引や特典、商品陳列の工夫などの取組は比較的少ない。
- ◇約8割の店舗はクルーズ船の寄港日を把握しているが、約2割の店舗は把握していない。
- ◇クルーズ客が訪問した場所は「ワ・ラッセ」、「アスパム」、「寺社・仏閣」、の順となっており、いずれも約5割が訪問している。
- ◇クルーズ客の1人当たりの消費額は、約6割が5,000円未満、約9割が1万円未満である。

1 調査の目的

青森市中心商店街において、クルーズ客による観光消費のより一層の拡大を図るため、令和7年における店舗の取組状況やクルーズ客の買い物状況などを把握し参考とするために実施したものの。

※ 特定の業種・店舗や一部のクルーズ船を対象として行った調査であり、中心商店街全体やクルーズ船全体の傾向を示すものではないことに留意。

2 調査実施者

青森商工会議所が、青森市経済部経済政策課及び青森県東青地域連携事務所の協力を得て実施。

3 調査の内容

① 店舗への調査

- ア 調査期間 2026年(令和8年)1月13日(火)から1月30日(金)
- イ 対象 青森市中心商店街の店舗(主に飲食店・小売店など)
- ウ 調査方法 調査員が店舗を訪問し、ヒアリングにより実施
- エ 設問数 15問
- オ 回答数 111店舗

② クルーズ客への調査

- ア 調査日・対象船舶
2025年(令和7年)10月22日(水) セブンシーズ エクスプローラー(乗客定員746名)
10月24日(金) ウエステルダム(乗客定員1,964名)
- イ 調査方法 調査員によるヒアリングにより実施
- ウ 設問数 16問
- エ 回答数 82名(10月22日31名、10月24日51名)

4 主な調査結果

※以下、グラフ表題の問番号は、全体版の問番号と同じ。

①店舗への調査

<クルーズ客をはじめとする外国人観光客の来店数・消費額（対前年(令和6年)比較）>

来店数は、約6割の店舗が増えた・やや増えたと回答している。

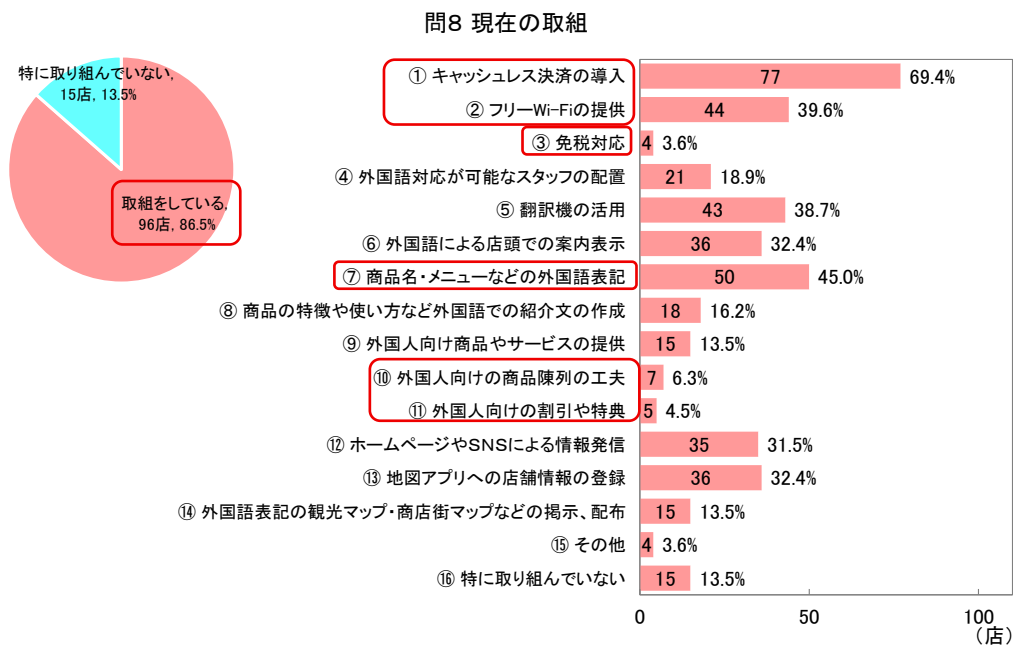
消費額は、約4割の店舗が増えた・やや増えたと回答している。



<受入に向けた取組>

約9割の店舗が外国人観光客向けに何らかの取組を実施している。

実施している取組は、「キャッシュレス決済の導入」、「商品名・メニューなどの外国語表記」、「フリーWi-Fiの提供」が多く、「免税対応」、「外国人向けの割引や特典」、「外国人向けの商品陳列の工夫」が比較的少なくなっている。



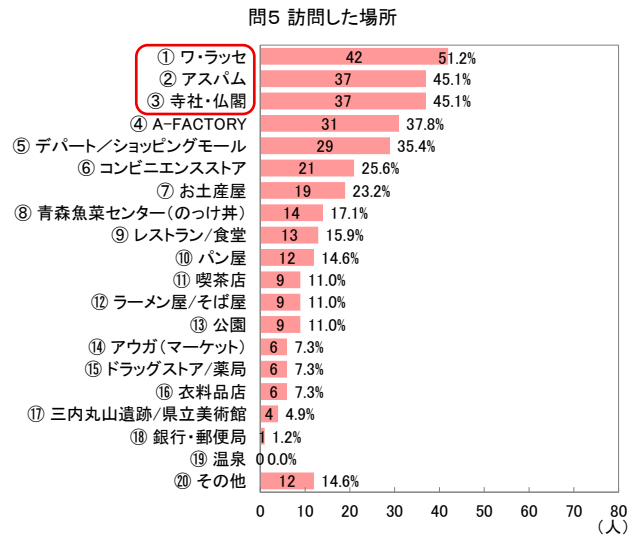
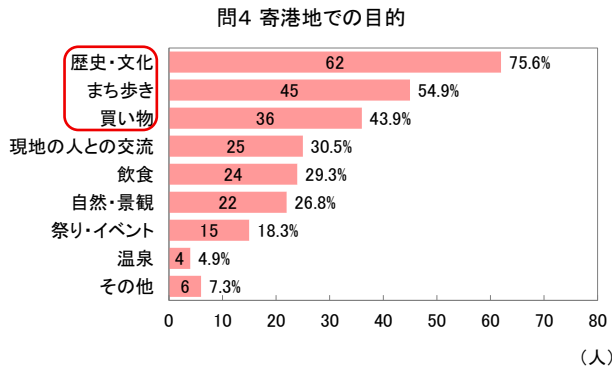
<その他>

- ・約8割の店舗がクルーズ船の寄港日を把握しているが、約2割の店舗は把握していない。
- ・クルーズ船の寄港日に「スタッフの増員」、「商品陳列の工夫」、「仕入れ・仕込み数の増加」、「営業時間の前倒し」などを実施している店舗があった。
- ・自由回答では、「海外の方がまち歩きをしてくれることは良いこと」「外国人観光客にどのような商品が売れているかなど情報共有の場があればよいと思う」「早朝営業の店が増えればよいと思う」「外国人向けの街中の案内サイン等の見直し」「夜の魅力もPRする必要がある」などの意見があった。

②クルーズ客への調査

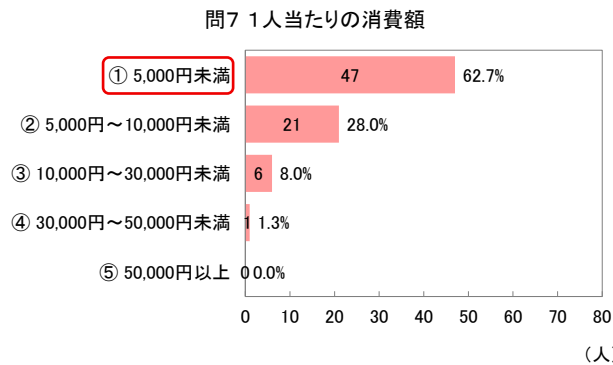
<寄港地での目的・訪問した場所>

寄港地での目的は、「歴史・文化」が最も多く、次いで「まち歩き」、「買い物」の順となっている。訪問した場所は、「ワ・ラッセ」、「アスパム」、「寺社・仏閣」の順となっており、いずれも約5割が訪問している。

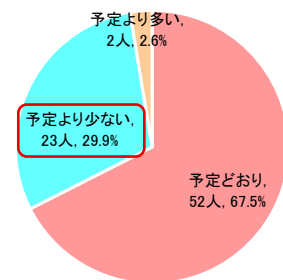


<1人あたりの消費額・消費額と当初予定額の比較>

1人あたりの消費額は、約6割が5,000円未満、約9割が1万円未満と回答している。消費額と当初予定額の比較は、約3割が「予定より少ない」と回答している。



問8 消費額と当初予定額の比較



<その他>

- ・支払い方法は、「現金」、「クレジットカード」が多く、その他の回答は少数だった。
- ・店舗に入るために必要な情報は、「支払方法」、「主な商品・サービス」、「業種」などが多かった。その他、朝の営業店舗に関する情報や次の寄港地に関する情報に対するニーズも多かった。
- ・自由回答では、「街がきれい安全でまち歩きを楽しめた」「飲食店のメニューや食材を英語表記してほしい」「店頭に掲示しているウエルカムポスターは他の港にはないおもてなしを感じた」などの意見があった。